

会報 *Bulletin*



Topics

香川高専産業技術振興会総会を開催しました。

香川高等専門学校産業技術振興会発足より2年が経過し、去る9月15日(木)、リーガホテルレゼスト高松にて、第2回総会を開催しました。総会には、法人会員、個人会員及び香川高専教職員を含めて総勢58名が参加し、平田会長(株式会社ヒューテック相談役)及び嘉門校長(香川高専)の挨拶の後、第2事業年度の事業報告・会計報告および第3事業年度の事業計画・予算が提案され、承認を受けました。

総会に引き続き、嘉門校長による「地盤環境と有害物質」と題した講演会が開催されました。その後、会場を移しての会員企業間や教職員との交流会には45名の参加者があり、和やかな雰囲気の中での懇親、交流がはからされました。



目次

contents

- | | |
|----------|-----------------|
| 2 役員挨拶 | 11 香川高専の活動紹介 |
| 6 会員企業紹介 | 12 会則及び会費に関する細則 |
| 8 総会報告 | 14 役員名簿・会員名簿 |
| 10 活動報告 | 16 事務局からのお知らせ |

役員挨拶

□ 理事挨拶

(株)石垣
代表取締役社長 石垣 真



香川高等専門学校産業技術振興会発足以来、理事をつとめさせていただいております株式会社 石垣の石垣 真と申します。

当社は、1958年に香川県坂出市で創業し、「信頼に技術で応える」を企業理念に、ろ過機、脱水機、ポンプ、船舶推進用ウォータージェットなど、水に関わる製品を製造・販売してまいりました。

香川高専からは、これまで多くの卒業生が当社の「ものづくり」を支え、現在も43名が活躍しています。2007年からは産・官・学連携による助成事業の中で、小水力発電などの下水道関連機器による「地球環境保全」のための研究を共同で行ってまいりました。

また、今年のソーラーカーレース鈴鹿2011では5位(総合8位)という輝かしい成績をおさめられた香川高専ソーラーカーTEAMの応援などを通じ、今後も地域社会を構成する一員として香川高専の教育振興のお手伝いができればと考えております。

最後になりますが、振興会会員と学校関係者皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

□ 理事挨拶

川田工業(株) 四国工場
工場長 内田 修平



3月11日に発生した東日本大震災の影響により大幅に落ち込んでいたわが国の経済は、被災工場の復旧が当初の予想を上回るペースで進んだことにより、何とか持ち直しつつある状況にあります。

とはいって、昨今の円高の急伸が国内の民間設備投資に何らかの悪影響を及ぼすだけでなく、製造拠点の海外移転を加速させ、いわゆる産業空洞化の流れにも拍車をかけるのではないかと危惧する見方も少なくないようです。

香川高専産業技術振興会は、「地域産業界と香川高専の連携を深め、地域産業の発展と香川高専の教育研究の振興に寄与すること」を目的としており、その活動の中で、地域の「ものづくり」の発展に寄与する技術開発と、技術と技能を担う人材の育成が進んでいくと期待しております。

わが社も「ものづくり」の技術と技能の重要性に鑑み、香川高専産業技術振興会会員企業の一員として、地域産業の発展に寄与できれば幸いと考えております。

役員挨拶

□ 理事挨拶

四国電力(株)
常務取締役 山地 幸司



東日本大震災から半年余りが過ぎましたが、復興は遅々として進んでおりません。一日も早い復興と、被災された方々が再び平穏な生活をおくれることを心から願っております。

さて、日本の製造業を取り巻く環境は、震災で大きな影響を受けたサプライチェーンが改善され、震災直後の落ち込みから持ち直してきているものの、歴史的な円高水準の長期化や欧米の景気減速の影響が下押し圧力として懸念されております。また、地球温暖化問題や資源需給の逼迫化、さらには少子高齢化の進行やこれに伴う地域活力の低下など、大きな変化にも直面しています。

こうした厳しい状況を打破し、地域経済を発展させるためには、地域の総合力を結集して、産業基盤となる技術力を支える人材の育成や、イノベーションの芽を育み発展させて新産業を創出していくことが必要です。

本振興会がそのような役割を果たし、香川県、そして四国地域全体の発展につながるよう、振興会会員および学校関係者の皆様と共に努めてまいりたいと思います。

□ 理事挨拶

(株)四国総合研究所
代表取締役社長 新田 芳樹



この度の東日本大震災により被災された方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたしております。

四国地域においても、今後予想される東海・東南海・南海地震等の災害のリスクに備えるとともに、震災前から深刻化している少子高齢化や産業の空洞化など経済的なリスクにも対処する必要があります。

そのためには、将来を見通し、人々を幸福に導くための「イノベーションの創出」が不可欠であり、オープンイノベーションが地域の未来を拓くものと考えております。

私は現在「四国工業研究会」、「香川経済同友会」等にも参画させていただいておりますが、本振興会において、香川高等専門学校の教育・研究と地域産業界との連携を深めることは、本学校組織の持つポテンシャル、すなわち地域の将来を担う若い人たちの「ものづくり」への情熱、創造力、チャレンジ精神、全国大のネットワーク等が、地域でのイノベーションの創出、ひいては地域の幸せにつながるものと大いに期待いたしております。

役員挨拶

□ 理事挨拶

四国旅客鉄道(株)
専務取締役 鉄道事業本部長 半井 真司



JR四国は、四国の皆様に支えられながら、安全・安定輸送を第一に、心のこもったサービスの提供に努め、お客様に喜んで利用していただける企業を目指し、日々業務に取り組んでいます。

産業界においては、安全を確保することを最優先に考えるべきことであり、そのためには、どんなに優れた設備やシステムがあったとしても、それらを使う「人」の力が最も重要であると思っております。特に、現場の第一線で業務を行っている人々の総合的な技術力、言い換えば「現場力」をいかに向上させ、将来にわたり維持していくかが重要な鍵であり、少子高齢化が進む四国においては、これから「現場力」を支える技術者を効果的に育成・確保していくことが必要だと考えております。

そのためにも、この産業技術振興会の活動を通して、香川高等専門学校と地域産業界がこれまで以上に連携を深め、協力体制を築いていくことを期待しておりますし、活動を継続していくことが四国の発展につながると考えております。

□ 理事挨拶

(株)レクザム
取締役副社長 生産本部長 住田 博幸



皆様、初めまして、私は本会の理事を務めさせて頂いております、住田と申します。

私は団塊の世代と言われる昭和22年生まれですので、とっくに還暦も過ぎて、もうすぐ64歳になる老人ですが、まだ現役にて株式会社レクザムで会社経営に携わっております。

そして、香川高専(旧、高松高専 電気工学科 S43年卒)の卒業生ということもあります。特に本会に対する想いは強く、本会の発展を強く願っているところです。

ところで、日本全国に国立の工業高等専門学校が設立されて、早や50年になろうとしています。

高専設立の目的は、戦後復興が一段落した昭和37年に、"全国津々浦々の地元企業の技術向上を目指して、即戦力の高度な技術者を多数配備する"ということでしたが、実際には約90%の卒業生は大都市に出て行き大手企業に就職するのが普通であり、現在も大学への進学率が高くなり必ずしも地元企業への貢献度は高くはありません。

そこで、本会設立の主目的であります"香川高専と地域産業界との連携を強めて、互恵のメリットを享受する"との趣旨に基づいて、両者の架け橋になるべく、微力ながら全力を尽くして参りたいと思います。

役員挨拶

□ 幹事挨拶

オリエンタルモーター(株) 高松事業所
高松地区涉外担当部長 中野 典之



東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

弊社の事業所も(相馬・つくば・土浦など)被災しましたが、おかげさまで従業員は皆無事で建物・設備の破損でとどまり、現在は復興しております。

しかしながら事業展開は、震災による中断・電力不足・円高・部材費の高騰・新興国との競合、そしてユーザーの海外移転など五重・六重苦により、製造・パーツメーカーは大変厳しい環境におかれています。

また日本が向かう方向も政府に期待は難しい状況。こういう苦難は自ら向かって、乗り越えてきたのが日本の企業だったと思います。今回も同様に、各企業で検討・工夫の最中であります。

やはり震災復興同様、この景気対応に一番必要なものは「人の力=人財」です。ベテランから中堅・若手メンバーの総力が企業のパワーとなっていくと思います。

香川高専産業技術振興会の運営で、企業・学校・高専OB・現役学生のネットワークを整備・活用できる体制にして、上記に貢献できるように企画していきたいと思います。

□ 幹事挨拶

香川高等専門学校
教授 山内 庄司



日頃より香川高専産業技術振興会にご協力いただき、ありがとうございます。お陰をもちまして、当振興会が発足して2年余りが経過し、ようやく軌道に乗ってまいりました。厚くお礼申し上げます。

当振興会の役割は、地域社会と香川高専との連携推進であり、高専の技術力・シーズと地域産業の持つ活力・シーズを連結し、産業と教育の振興に寄与することを目的としています。この目的に沿って幹事として十分なことができているか心配なところではあります、会員の皆様と香川高専との太いパイプができつつあることが何よりの成果ではないかと思っています。

現在、会員数は法人106社、個人10名となっており、これも香川高専と当産業技術振興会への期待の大きさの現れかと思います。それに応えるべく、会員の皆様と香川高専とのより良い関係づくりに、微力ながら尽力致す所存です。今後ともよろしくご指導のほどをお願い致します。

会員企業紹介

□ 株式会社 大林組

大林組は、1892年(明治25年)の創業以来、「技術」と「誠実さ」をDNAとして、お客様の信頼にお応えする高品質の建設サービスを提供し続け、おかげさまで2011年1月に創業120年を迎えました。これからも、これらのDNAを継承するとともに、「地球に優しい」リーディングカンパニーを目指していくため、新たな理念体系「大林組基本理念」を定めました。近年、社会はかつてないスピードと規模で大きく変化しています。こうした状況下で建物・施設に求められるニーズも急激に変化し、多様化しています。私たち大林組は、お客さまの事業に貢献することはもちろん、環境への配慮や安全・安心の提供といった社会のニーズを先取りした提案を行い、高付加価値、高機能の建設サービスを提供することで、応えてまいります。



□ オリエンタルモーター株式会社

わたしたちオリエンタルモーターは、1885年に手造りのモーターから始まりました。「『ものを愛する心』『ひとを愛する心』を持つ」という基本思想から、さまざまな事業へと発展させてまいりました。これからも、動力、速度制御、位置制御、機構制御、温度管理など、すべての世の中の「動き」に関わり続けていきたいと考えております。わたしたちは、必要なものを必要なときに必要なだけお届けするよう商品を標準化し、「1社に1,000台でなく、1,000社に1台ずつ」提供していく基本姿勢をつらぬいています。この考えは、時代ごとの「動き」に対するニーズを教えてくれました。わたしたちは、お客様が装置を検討する段階からコミュニケーションしさまざまな「動き」を一台のご注文から翌日にお届けします。



□ 香川シームレス株式会社

当社は昭和40年12月創業のレッグニットのメーカーである香川シームレスを中心としたグループ経営を行っており、販売会社としてケーアイ(株)・㈱レガルトの他に中国に香川繊維有限公司という靴下製造会社があります。販売会社は中国製品の実用的なボリューム商品を大半輸入し販売、中級品以下は海外生産を行い、当社では中国では出来ない付加価値の高い商品をターゲットに編機等設備の高度化と技術を駆使、高感度・高機能商品を生産しております。OEM生産が主体であるが、自社ブランド【エリザベス】の製造販売にも力を入れファッション製品だけではなく、足のむくみを予防する医療弾性ストッキングなども開発し市場に送り込んでいます。更に小売事業部門として(株)ピエドを設立。香川・松山で計5店舗を展開。平成23年9月には中国市場への展開もはじめました。



会員企業紹介

□ 株式会社コヤマ・システム

会社設立は1989年11月です。業種はソフトウェア業です。18名の内、2名が香川高専、1名が阿南高専の卒業生です。創業以来、FA用受託ソフトウェア開発に関わってきました。そういう意味から、当社の強みは、一貫してお客様のご要望に沿ったソフトウェアを開発し、提供してきたことです。通信プロトコル、画面構成、ファイル構造など、標準的な規格を生み出し定着させてきました。その姿勢を評価いただき、現在も長くお取引をいただいている。最近は自社商品を開発すべく、試行錯誤を繰り返しながらチャレンジをしています。RFID、ICカード、マシンビジョン、クラウド、ウェップモバイル、組み込みをキーワードに、商品作りをしています。製造業、畜産業、リサイクル業、ソフト開発業、学校関係へ納入しています。当社が大切にしていることは、社内外を問わず関わる人の「成長」と「幸せ」実現です。仕事を通じて成長し、出来ることを増やしていきます。そうしてお客様にお役立ちすることで社会に恩返しをします。お客様の喜びが、幸せにつながっていきます。

□ 株式会社 四国総合研究所

四国総合研究所は、四国における技術開発推進の中核的存在を目指し、四国電力の研究所を母体として、昭和62年に設立されました。弊社の研究活動は、電力やエネルギーの分野はもとより、バイオ、環境、エレクトロニクス、情報・通信、土木・地質などの分野に至るまで多岐にわたっています。これらの幅広い分野で培ってきた技術やノウハウを活かし、電気事業の経営効率化に役立つ研究開発に加え、受託研究や試験・分析サービス、研究開発による成果品の販売などを積極的に行っています。また、大学、自治体、地元企業との共同研究などを通じて、地域社会の振興発展に役立つ研究開発にも取り組んでいます。今後は「四電グループから頼りにされる研究所」「四国地域に必要とされる研究所」「全国に情報発信できる研究所」を目指して、より一層皆様方のお役にたてるよう努めてまいります。



□ 高松産業株式会社

当社は昭和21年、機械・機具・工具・水道配管資材等の流通商社「高松産業社」として創業。その後、昭和26年に「高松産業株式会社」を法人設立いたしました。以来、時代の変遷とともに取扱商品や業績も拡大し、現在では機械・工具はもとより、合理化・省力化・FA化につながる工場用品全般、又今問われている環境商品など多岐に渡る商品を送り出し少しでも地域の物造りに貢献すべく頑張っております。

取扱商品:工作機械・機械工具・伝導用品・作業用工具・工場用品全般・電動工具・配管用資材・一般鋼材 etc.



総会報告

日 時	平成23年9月15日(木) 午後4時00分～午後5時00分	
場 所	リーガホテルゼスト高松(2階 エメラルドの間)	
次 第		
1.開会の辞		
2.会長挨拶	株式会社ヒューテック相談役 平田 喜一郎	
3.校長挨拶	香川高等専門学校長 嘉門 雅史	
4.議 事	(1)第2事業年度事業報告について (2)第2事業年度会計報告について (3)第3事業年度事業計画について (4)第3事業年度予算について (5)役員の交代について (6)その他	
5.閉会の辞		

◎第2事業年度事業報告について

I 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。

- (1)シーズ発表会等の案内 (2)産学連携先進地視察

II 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。

- (1)講演会等の開催 (2)講習会、研修会等の後援および案内 (3)イブニングセミナーの開催
(4)研究交流会の案内 (5)教職員の会員企業訪問見学会 (6)会報の発行

III 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。

- (1)共同研究・受託研究・技術相談の件数(平成22年度)

IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。

- (1)会員企業への出前講座

V インターンシップ、共同教育に関すること。

- (1)インターンシップの受け入れ先(平成23年度) (2)会員企業技術者の客員教授としての学生教育の実施

VI 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。

- (1)インターンシップ及び企業説明会、面談会への参加

VII 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。

- (1)発明コンテストの補助 (2)平成22年度出前授業等 (3)海外からのインターンシップ受け入れ

VIII その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

- (1)産業技術振興会HPの更新

◎第2事業年度会計報告について

【収入の部】

事 項	収 入 額	概 要
前期繰越金	2,298,262 円	
会費収入	3,170,000 円	
その他収入	712 円	
合 計	5,468,974 円	

【支出の部】

事 項	支 出 清 額	概 要
講演会等実施経費	88,280 円	講師謝金及旅費
技術者育成事業経費	749,026 円	見学会及講師謝金他
就職説明会実施経費	421,575 円	会場設営費
運営経費	937,216 円	会場借上料他
次期繰越金	3,272,877 円	
合 計	5,468,974 円	

【会計監査報告】会計監査人 株式会社レクザム 取締役副社長 住田 博幸

総会報告

◎第3事業年度事業計画について

- I 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。**
 - (1)シーズ発表会等の案内 (2)産学連携先進地視察
- II 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。**
 - (1)講演会等の開催 (2)講習会、研修会等の案内・補助 (3)イブニングセミナー開催
 - (4)研究交流会の案内 (5)教職員の会員企業訪問見学会 (6)会報の発行
- III 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。**
 - (1)技術相談、共同研究、受託研究の促進
- IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。**
 - (1)会員企業への出前講座の実施 (2)企業技術者養成講座(予定2コース)の実施
- V インターンシップ、共同教育に関すること。**
 - (1)インターンシップへの支援 (2)企業技術者活用教育
- VI 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。**
 - (1)企業合同説明会の案内・補助
- VII 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。**
 - (1)サイエンスフェスタへの企業展示依頼 (2)発明コンテストの補助
- VIII その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。**
 - (1)振興会パンフレット作成・配布 (2)振興会HPの維持管理

◎第3事業年度予算案について

【収入の部】

事項	予算額	概要
前期繰越金	3,272,877 円	
会費収入	3,330,000 円	
その他収入	0 円	
合計	6,602,877 円	

【支出の部】

事項	予算額	概要
講演会等実施経費	200,000 円	講師謝金等
技術相談等経費	100,000 円	交通費他
技術者育成事業経費	1,769,200 円	見学会及講師謝金他
インターンシップ支援経費	100,000 円	旅費交通費等補助
就職説明会実施経費	500,000 円	会場設営費
運営経費	1,360,000 円	会場借上料他
予備費	2,573,677 円	
合計	6,602,877 円	

◎役員の交代について

I 副会長の交代について

- (旧) 株式会社タダノ 執行役員常務 児玉 義人 様
- (新) 株式会社タダノ 執行役員企画管理部長 北村 明彦 様

II 理事の交代について

- (旧) 四国電力株式会社 常務取締役 武井 邦夫 様
- (新) 四国電力株式会社 常務取締役 山地 幸司 様

III 会計監査人の交代について

- (旧) 株式会社石垣 執行役員開発部長 藤田 邦夫 様
- (新) 株式会社石垣 執行役員開発部長 片山 雅義 様

活動報告

◎香川高専産業技術振興会講演会を開催しました。

平成23年9月15日(木)に、リーガホテルゼスト高松において、香川高専産業技術振興会講演会を開催いたしました。講演会には振興会会員企業及び本校教職員など65名が参加しました。講演会では、香川高等専門学校長 嘉門 雅史氏を講演者としてお招きし「地盤環境と有害物質」と題して、自然由来の地盤汚染、人為的汚染の問題、さらには原発事故を受けての今後の原子力政策のあり方に至るまで、幅広い分野にわたってご講演いただきました。



◎香川高専産業技術振興会「先進地見学会」を開催しました。

平成23年8月29日(月)に、香川高専産業技術振興会会員企業を対象とした先進地見学会を開催しました。会員企業の技術者12名、本校教職員3名が参加しました。



これは、地域産業と高専が連携して地域産業の発展と高専教育研究振興の成功事例を見学することを目的としており、今回は、日亜化学工業(株)と阿南工業高等専門学校の連携事例を見学に行きました。

午前中に日亜化学工業(株)を訪問し会社概要の紹介後、ショールームの見学を行いました。午後には阿南工業高等専門学校を訪問し、寄附講座、創造テクノセンター、阿南市インキュベーションセンターなどの施設の見学を行いました。

◎イブニングセミナー報告

第9回/平成23年6月8日(水)

話題:「震災と防災機器の開発」 講師:(株)今井鉄工所 代表取締役 今井 俊夫氏 / 新村 松悟氏

概要:阪神淡路大震災をきっかけに始めた自社製品(クレーン)への震災対応の取組みと、その後のBCPとしての事業展開などについての紹介

第10回/平成23年9月28日(水)

話題:「森林保全と地域防災の融合による産業化」 講師:日興コンサルタント(株) 代表取締役 岡 秀憲氏

概要:四国地域における森林の荒廃に対する対策として、竹材や間伐材を活用して、地域防災などに役立つ製品への応用ならびに新たな産業の創成について、話題提供していただき、実現可能な具体的な方策について、意見交換の場でブレーンストーミングなどを行った。

◎香川高専産業技術振興会第3回「会員企業見学会」を開催しました。

平成23年8月24日(水)に、香川高専教職員による香川高専産業技術振興会会員企業見学会を開催しました。参加者は、午前・午後で、のべ21名の教職員が参加しました。



これは、産学連携を推進するとともに、学生の進路を考えるうえで、教職員が企業への理解を深めることが必要なため、昨年度から開催しているもので、今回が3回目になります。午前中に(株)アオイ電子を訪問し、最初に会社概要や独自技術などの紹介をしていただき、同社の工場見学を行いました。午後は、(株)ヒューテックを訪問し、同社の沿革や概要、技術紹介があり、工場見学を行いました。両社では、役員をはじめとする多くの方々にご説明等をいただきました。



香川高専の活動紹介

◎「第2回香川高専発明コンテスト」表彰式を開催しました。

平成23年10月6日(木)に「第2回香川高専 発明コンテスト」表彰式を高松キャンパス校長室で開催しました。最初に、嘉門校長より各賞の受賞者へ賞状及び記念品が贈呈され、その後、講評をしていただきました。

本年度で2回目となる今年度は、両キャンパス合わせて45件の応募があり、書類審査と発表審査により、下記の受賞作品を選出しました。そのうち最も優秀である2件の作品を、特許庁・文部科学省等主催の「パテントコンテスト」へ応募しました。

受賞者

▼パテントコンテスト推薦賞(最優秀賞)2件

- 乙武 秀二郎(機械工学科5年) 作品名「トマト収穫ロボットのロボットハンド」
野崎 賢三(制御情報工学科5年) 作品名「静音黒板消しクリーナー」

▼香川高等専門学校長賞(優秀賞)1件

- 岡田 拓記(機械工学科1年) 作品名「測って切れるテーブカッター」

▼地域イノベーションセンター長賞(アイデア賞)1件

- 佐々木 将太(機械工学科5年) 作品名「寿命判別機能付きUSB」

▼香川高等専門学校 産業技術振興会長賞(技術賞)1件

- 藤川 貴広・森本 貴也・下川 一幸(制御情報工学科5年)
作品名「後付け注ぎ口」



◎四国地区高専シーズ発表会(情報・制御分野)

平成23年8月25日(木)に香川高専詫間キャンパスにおいて、四国地区高専地域イノベーションセンター主催の四国地区高専シーズ発表会(情報・制御分野)を開催しました。一般講演Ⅰでは、情報・制御分野の3件、一般講演Ⅱでは、香川高専の3件のシーズ発表を行いました。発表後は、企業関係者を含む参加者間で活発な情報交換があり、今後の企業との連携に向けて良好な展望が期待されました。



また、特別基調講演では、「福島第一原子力発電所事故を巡る技術者の『危機意識』と『人間力』」と題して、元(株)東芝原子力事業部、福島第一原子力発電所3,5号機の基本設計を担当された沼津工業高等専門学校 渡辺敦雄特任教授に講演いただきました。講演終了後は活発な質疑応答もあり、盛況の内に幕を閉じました。

◎「次世代ものづくり担い手のための基礎技術力養成研修」(機械設計コース・電子技術コース)を開催しました。

香川高等専門学校では、全国中小企業団体中央会のものづくり分野の人材育成・確保事業として、(公財)かがわ産業支援財団とともに「次世代ものづくり担い手のための基礎技術力養成研修」を、8月1日(月)~9日(火)の間にわたって開催しました。



高松キャンパスでは、「鍛えよう、技術体力@香川高専」をキャッチフレーズにして機械設計コースを開催し、詫間キャンパスでは「C言語でロボットやPICマイコンを制御しよう!」をテーマに電子技術コースを開催し、両コースとも10名の受講がありました。

また、外部講師による講演として(株)レクザムの住田副社長にもご講演いただき、県内企業見学としてJR四国多度津工場、オリエンタルモーター(株)などを訪問しました。

◎香川発大学・高専連携シーズ発表会2011

平成23年9月16日(金)に香川大学工学部で香川大学・徳島文理大学・香川高専主催による「香川発大学・高専連携シーズ発表会2011」を開催しました。



このシーズ発表会、高専・大学との連携強化に加え、共同研究等による地域社会への貢献を目的として、一昨年度から開催しており、今回で3回目を迎えます。

発表会では、(株)IHI航空宇宙事業本部 技術顧問 野坂 正隆氏の「極低温トライボロジー技術の限りない挑戦—高性能ロボットエンジンの実現に向けて—」と題した基調講演のち、2会場に分かれ16名の教員によるシーズ発表が有りました。会場には約70名の来場者が訪れ熱心に聞き入っていました。

会則及び会費に関する細則

◆香川高等専門学校産業技術振興会会則

名 称

第1条 本会は、香川高等専門学校産業技術振興会と称する。

目 的

第2条 本会は、地域産業界と香川高等専門学校(以下「香川高専」という。)との連携を深め、香川高専が有する人・知・物的資源を活用し、技術交流や情報交換等各種事業を通し、地域産業の発展を図るとともに、香川高専の教育研究の振興に寄与することを目的とする。

事 業

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関する事。
- (2) 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。
- (3) 技術分野での技術相談、情報交換に関する事。
- (4) 企業社員の研修等育成支援事業に関する事。
- (5) インターンシップ、共同教育に関する事。
- (6) 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関する事。
- (7) 香川高専の教育・研究の充実、振興に関する事。
- (8) その他、本会の目的達成に必要な事業に関する事。

会 員

第4条 本会は、本会設立の趣旨に賛同する次の会員をもって組織する。

- (1) 法人会員 国内外の企業及び団体法人
- (2) 個人会員 本会の趣旨に賛同する香川高専卒業生等
- (3) 特別会員 大学、官公署、商工会議所等の公的機関、香川高専教職員

役 員

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 幹事 2名

役員の選出

第6条 役員は、総会において会員のうちから選出する。

役員の任務

第7条 会長は、本会を代表し本会の業務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、本会運営に関する事項を処理する。
- 4 幹事は、会長を助けて会務を処理する。

役員の任期

第8条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に次員が生じた場合は、必要に応じて補充する。ただし、補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

会 議

第9条 会議は、総会及び役員会とする。

総 会

第10条 総会は、会員をもって構成し毎年1回開催する。

- 2 会長は、総会の議長となる。
- 3 総会において審議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 運営の基本方針に関する事。
 - (2) 事業計画並びに予算・決算に関する事。
 - (3) 役員の選出に関する事。

会則及び会費に関する細則

(4) 会則の改正に関すること。

(5) その他本会の目的達成に関すること。

4 総会は法人会員及び個人会員の過半数の出席(委任状を含む。)をもって成立し、議事は出席者(特別会員を除く。)の過半数の同意を以て議決する。

役員会

第11条 役員会は、第5条に定める役員をもって構成し必要に応じて会長が招集する。

2 会長は、役員会の議長となる。

3 役員会において審議する事項は、次のとおりとする。

(1) 本会の事業、会計及び運営に関する事。

(2) その他会務遂行上必要と認められること。

4 役員会は年度末に会務ならびに会計報告を作り、総会で会員の承認を受けなければならない。

経 費

第12条 本会の運営経費は、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。

事業年度

第13条 本会の事業年度は、毎年9月1日に始まり、翌年の8月31日に終わる。

事務局

第14条 本会は、香川高専地域イノベーションセンター内に事務局を置く。

その 他

第15条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関する必要な事項は、役員会においてこれを定める。

附 則

1 この会則は、平成21年8月28日から施行する。

2 この会則施行後において最初に選任される役員の任期は、会則第8条第1項の規定にかかわらず、平成23年8月31日までとする。

3 この会則施行後の最初の事業年度は、会則第13条の規定にかかわらず、平成21年8月28日から平成22年8月31日までとする。

附 則

この会則は、平成21年10月1日から施行する。

◆香川高等専門学校産業技術振興会会費に関する細則

目 的

第1条 この細則は、香川高等専門学校産業技術振興会の会費に関し、必要な事項を定める。

会費の額

第2条 会費は年会費とし、次の各号のとおりとする。

(1) 法人会員 3万円

(2) 個人会員 1万円

(3) 特別会員 免除する。

納入時期等

第3条 前条に定める会費の納入は、入会時及び毎年度(入会年度を除く。)9月末日までに納入するものとする。

2 納入された会費は、原則として返還しない。

附 則

この細則は、平成21年8月28日から施行する。

附 則

この細則は、平成21年10月1日から施行する。

役員名簿・会員名簿

◆役員名簿

平成23年10月1日現在

企業名	職/氏名	役職
株式会社ヒューテック	相談役 平田 喜一郎	会長
株式会社タダノ	執行役員企画管理部長 北村 明彦	副会長
株式会社百十四銀行	取締役常務執行役員 泉川 貴昭	副会長
株式会社石垣	代表取締役社長 石垣 真	理事
鹿島建設株式会社	執行役員四国支店長 安藤 進	理事
川田工業株式会社 四国工場	工場長 内田 修平	理事
株式会社四国総合研究所	代表取締役社長 新田 芳樹	理事
四国電力株式会社	常務取締役 山地 幸司	理事
四国旅客鉄道株式会社	専務取締役鉄道事業本部長 半井 真司	理事
株式会社レクザム	取締役副社長生産本部長 住田 博幸	理事
オリエンタルモーター株式会社 高松事業所	高松地区涉外担当部長 中野 典之	幹事
香川高等専門学校	教授 山内 庄司	幹事

◆会員名簿 (50音順)

平成23年10月1日現在

法人会員

葵機工(株)	川田工業(株) 四国工場
アオイ電子(株)	(株)川西水道機器
(株)朝日段ボール	基礎地盤コンサルタンツ(株) 四国支店
(株)綾野製作所	木下製粉(株)
(株)アルファ建築空間	錦城護謨(株)
(株)石垣	(株)弘栄社
泉鋼業(株)	(株)五星
(株)今井鉄工所	(株)コヤマ・システム
(株)ウズマキ	坂出機工(株)
宇部三菱セメント(株) 四国エリアオフィス	(株)サカロー
(株)エイト日本技術開発	三協エンジニアリング(株)
(株)エスビーエフ	(株)三光エンジニアリング
(株)OA.システムシャープ	讃光工業(株)
(株)大林組 四国支店	三和電業(株)
(株)奥村組 四国支店	(株)シーマイクロ
オリエンタルモーター(株) 高松事業所	(株)ジェイアール四国コミュニケーションウェア
香川シームレス(株)	(株)四国総合研究所
鹿島建設(株)	(株)四国電子計算センター
(株)川上板金工業所	四国電力(株)
川崎化工(株)	四国ドック(株)
川崎地質(株) 四国支店	四国プラスチックス(株)

会員名簿

法人会員

四国旅客鉄道(株)	(株)百十四銀行
四変テック(株)	(株)ヒューテック
伸興電線(株)	世光加工(有)
住友大阪セメント(株) 四国支店	(有)ファイトロニクス
瀬戸内金網商工(株)	ブイテック(株)
(株)セリックス	富士船舶装備(株)
(株)ソアテック	扶桑建設工業(株)
第一衛材(株)	前田工織(株) 四国営業所
大成建設(株) 四国支店	(株)マオ力設計
太平洋セメント(株) 関西四国支店	(有)正木鉄工所
大豊産業(株)	(株)松本コンサルタント
高松産業(株)	(株)丸善
高松帝酸(株)	三菱電機エンジニアリング(株) 丸亀事業所
(株)竹中土木 四国支店	三村鉄工(株)
(株)タダノ	(株)村上組
(株)タダノエステック	(株)森川ゲージ製作所
(株)タダノエンジニアリング	(株)大和製作所
タチバナ工業(株)	(株)湯谷機械製作所
(株)ダックス	(株)四電技術コンサルタント
田村ボーリング(株)	ライト工業(株) 四国支店
(株)チェリーコンサルタント	ラモナー(株)
中央開発(株) 関西支社	(株)レクザム
(株)ちよだ製作所	(株)ワイイーエス
筒井鉄工(株)	(株)ワイジーテック
東洋建設(株) 四国支店	
(株)東洋製作所	
東洋炭素(株) 詫間事業所	今井 正三郎
(株)トーコー	十河 浩
南海プライウッド(株)	田浦 一英
(株)南條工作所	高出 成昭
(株)日進機械	中野 安浩
日東河川工業(株)	原 卓雄
(株)NIPPO 四国支店	平井 勉
日本工営(株) 四国支店	松川 久俊
日本興業(株)	三谷 朋幹
日本国土開発(株) 四国営業所	村雲 治
(株)ハイテック	
(株)パブリック	
(株)パル技研	
(株)ビットコミュニケーションズ	

個人会員

今井 正三郎
十河 浩
田浦 一英
高出 成昭
中野 安浩
原 卓雄
平井 勉
松川 久俊
三谷 朋幹
村雲 治

特別会員

(公財)かがわ産業支援財団

事務局からのお知らせ

【今後の予定】

1.平成23年度インターンシップ及び企業合同説明会

趣 旨:本校学生が就職先又はインターンシップ先を選択するうえにおいて、企業の採用担当者の方と接し、会社概要及び採用状況などについて情報収集する場を設けます。

開 催 日:平成24年2月28日(火)午前中

開催場所:香川高専高松キャンパス第1体育館

対象企業:香川高専産業技術振興会会員企業

※会員企業様宛のご案内は1月初旬にお送りいたします。

2.イブニングセミナー及び研究交流会

第3回信号処理研究会

日時:平成23年11月11日(金)15:00~ 場所:地域イノベーションセンター2階会議室

内容:「新しい類似性尺度を用いたパターン認識・パターン分類・異常検知システムの開発」

「能動騒音制御について」

第11回イブニングセミナー

日時:平成23年11月30日(水)18:00~ 場所:地域イノベーションセンター2階会議室

話題:(仮題)竹林保全と地域防災の融合による産業化

講師:JOGMEC菊間事務所長 山内 守氏(本校土木8期卒業生)

3.香川高専主催特別講演

日時:平成23年11月10日(木) 15:00~

場所:高松キャンパス図書館棟3階イノベーションホール

演題:国際競争を勝ち抜く情報の生かし方

講師:内部 学氏(時事通信社 高松支局長)

日時:平成23年12月8日(木) 15:00~

場所:高松キャンパス図書館棟3階イノベーションホール

演題:核融合を中心とした今後の電力エネルギー技術について(仮題)

講師:柳 長門氏(大学共同利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研究所)

4.企業技術者による共同教育推進

振興会を中心とする企業技術者に香川高専の授業を支援して頂く

◆編集後記

東日本大震災・原発事故からの復興、豪雨災害、タイの洪水、EUの金融不安等、内外の課題が山積する中での発行となりました。会報第3号をお届けします。

今回は総会報告に加えまして、前号に引き続いて、会員企業紹介のコーナーを設けております。記事をお寄せいただきました皆様にお礼申し上げます。次回以降も継続しますので、よろしくお願いします。会報および振興会に対するご意見、ご希望等がございましたら、ぜひ気軽にお寄せ下さい。今後ともよろしくお願い致します。

香川高専産業技術振興会事務局

〒761-8058 香川県高松市勅使町355
香川高専総務課 研究協力係

TEL.087-869-3818・3865

FAX.087-869-3819

E-mail kenkyu@kagawa-nct.ac.jp
<http://www.aip-kagawa-kosen.org/>